



グルモール

JAPANESE SCHOOL, NEW DELHI 2022

<http://www.ndjs.org/>

第7号

令和4年10月31日

9月～10月にかけてたくさんの学校行事が実施できました。

11月も着実に教育活動を推進できることを願っています。

校長 足立 浩

本日、ディワリ休業が明けるとともに、早10月も最終日を迎えました。

10月10日（月）後期の始業式の折に「継続は力なり」の言葉を紹介しました。「何事においても続けることが大事である。継続することによって力は伸びていく。仮に今、力の伸びが見られないとしても続けていると力は蓄えられている。力を伸ばすためには継続することが大切である。」という内容です。教育や子育ては「一朝一夕」にはうまく行きません。努力しても効果が出るには時間がかかります。「三朝三夕」「十朝十夕」さらに「百朝百夕」（こんな言葉はありませんが）と継続して力を伸ばしてほしいと思います。

もう一つ、始業式の折に「なぜ勉強をするのか？」という問いかけをしました。この答えは一つではありません。「夢を叶えるため」「将来なりたい職業に就くため」「お金持ちになるため」等々いろいろあると思います。私の方からも一つの答えを紹介しました。それは「争いや戦争をしないため」というものです。相手（あるいは異文化、外国）を理解しようとする、ある程度の知識や思考力が必要になります。本校の目指す児童生徒像の「わかりあう子」に繋がりますが、やはり相手を理解するには勉強が必要です。また、勉強するにあたって気を付けてほしいことも伝えました。それは、勉強によって「人をばかにしたり見下したりしない」ことです。勉強を通じて、広い視野と深い思考を手に入れ、子どもたち自身が豊かに生きることができるようになってほしいと願っています。

5月の時点では中止としましたフリー参観日ですが、今回は期間を3日間、参観を2～4校時と縮小設定して実施できました。1日目の「ナマステ！INDIA☆DAY」には、特に多数の保護者の皆様に来校いただきました。昨年度の「ナマステ！INDIA☆DAY」はコロナ対策のため児童生徒のみの活動でしたので、保護者の来校は3年ぶりとなりました。本行事の目的に「インドの様々な文化に触れる活動を通してインドへの関心を高め、理解を深める。また日本と異なる文化を認め、国際社会の一員として共に生きていこうとする姿勢を培う（抜粋）」とありますが、その一助になったのではないかと思います。

いよいよ11月。5か月後にはそれぞれの学年を修了し、6年生、9年生は卒業を迎えます。一日一日の継続、積み重ねを大切にしつつ、後期も力をつけてほしいと願っています。保護者の皆様にはコロナ感染対策の制限・制約をご理解いただいていますこと、改めて深く感謝申し上げます。ディワリ休業を終え、可能なところは部分的にでも緩和していきたく思っています。引き続き、ご理解とご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。



トピックス



いよいよ後期日程が始まりました!

10日、後期始業式を行いました。本校は二期制を実施しています。始業式では校長先生より、後期の目標をしっかりと持ち、続けることを大切にしながら学習に取り組むようお話がありました。

後期日程でもコロナ拡散防止対策を万全にとりながら学校活動を行ってまいります。保護者様のご協力をよろしくお願いいたします。



校外学習を再び充実させていきます

コロナ禍において修学旅行が実施されなかったG9の生徒に、なんとか良い経験をと德里市内への校外学習を実施しました。インドの文化をしっかりと吸収することができました。続いて、G2児童も公共施設見学でJAPAN FOUNDATIONを訪問し、図書室や日本語学習者との交流会を行いました。





ナマステ！インディア★デイでの豊かなインド文化学習

10月18日は、全校生が楽しみにしていたナマステ！INDIA☆DAYでした。
これまではなかなか体験できなかった伝統的、または日常的なインドの文化に触れ、
楽しみながらインドの魅力を再発見した半日となりました。
本校のために指導をしてくださった講師の皆様から心から感謝いたします。



◆児童生徒在籍者数（10月31日現在）

	男子	女子	計
小1年	10	14	24
小2年	7	10	17
小3年	7	10	17
小4年	8	17	25
小5年	12	12	24
小6年	6	7	13
中1年	8	4	12
中2年	7	11	18
中3年	7	5	12
スーリヤ	0	2	2
計	72	94	164